

臨床研究への御協力をお願い

空間トランスクリプトーム解析の自己免疫疾患領域での応用に向けての検討

人の体のなかには、微生物の侵入を防ぐ「免疫応答」とよばれる仕組みが備わっています。この免疫応答が間違っって自分の体を攻撃してしまう病気が、「自己免疫疾患」と呼ばれる病気です。自己免疫疾患には、関節リウマチや全身性エリテマトーデス、ANCA 関連血管炎など様々な疾患が含まれます。自己免疫疾患は発生の仕組みが未だ不明な疾患や診断することが難しい疾患が多く、現在これらに対して多くの研究がなされています。また同じ自己免疫疾患の患者様でもそれぞれ症状が異なり、薬剤への反応性もさまざまです。それゆえ、患者様ごとに治療方法を変える治療の個別化が望まれる領域です。

空間トランスクリプトーム解析装置は、人から得られた病理組織を用い、任意の領域の遺伝子発現や蛋白質解析を行うことができる最新の遺伝子解析装置です。本研究では、この技術を可能にする GeoMx もしくは CosMx という解析装置を用い、患者様より採取した組織に対して病変部位の遺伝子や蛋白質の発現について解析し、未来の自己免疫疾患の診断や個別化治療、さらには病態解明への応用を検討することを目的としています。

対象患者様は本院で病理診断のために組織を採取した自己免疫疾患患者様及び対照としての非自己免疫疾患患者様あわせて約 20 名で、研究実施期間は 2023 年 3 月までです。

本研究を行うにあたっては本院の倫理審査委員会の倫理審査の承認を受け、本院の院長の許可も受けています。なお、この解析は病変部のみの変異である体細胞変異のみがわかる解析となっており、親から子に受け継がれる可能性である生殖細胞系列の変異は含まれておりません。

また、患者様のご希望があれば、この研究計画書及び研究方法に関する資料を入手または閲覧することができます。集計された結果は国内外の学会や論文誌上で発表し、研究に用いられた情報は研究終了 10 年後に廃棄致します。

本研究は本院の研究費で実施され、対象患者様の医療費の負担が増える事はありませんし、対象患者様に新たに何かをお願いすることはありません。

本研究に不参加の意思表示は自由ですので、患者様又はその代理人はその旨下記の研究代表者あるいは主治医にお話し下さい。不参加の場合でも今後の診療に不利益を被ることはありません。

ご協力、宜しくお願いします。

何かご不明な点がありましたら、下記の研究代表者あるいは主治医にご相談下さい。